



令和3年3月28日 弓場地車 昼提灯お披露目式

ご挨拶

中国・武漢発の新型コロナウイルスの爆発的感染拡大は一年以上たっても治まる兆しもなく世界中に拡がり、兵庫県でも今年四月に三度目となる緊急事態宣言が発令されました。例年GW中は東灘区の各地区で地車(だんじり)が曳き出され街は祭りムード一色になるのですが、残念ながら昨年引き続き中止となってしまいました。

しかし嬉しい事に、当社では昨年の平野地区の地車の新調お披露目に続き、本年は弓場地車の昼提灯の新調お披露目が三月にありました。地区の方のみならず御影各町の代表や来賓の方も多数参加され、短い時間でしたが久しぶりの「地車談議」に花が咲きました。開催にあたり感染防止対策に十分に配慮されご準備を下さりました、弓場地車の皆様には心より御礼申しあげます。

当社の神幸祭・地車祭の起源は明らかではありませんが、西宮の庄屋の日記「四井屋久兵衛覚之事」中の享和二年(一八〇二)六月の所に「御影村氏神八郡家村にあり、今度普



ゆづるは神社社報

発行所
弓弦羽神社社務所
〒658-0048
神戸市東灘区御影郡家2丁目9-27
(旧地名:弓弦羽ノ森)
TEL 078(851)2800
FAX 078(851)2803
URL=http://www.yuzuruha-jinja.jp/

印刷所
(株)マテックス
神戸市中央区筒井町2丁目1-38

月に一度は氏神様にお参りしましょう。
新車は必ず交通安全祈禱にご参拝ください。

宮司 澤田政泰

請成就二付十四日正遷宮、十六日迄神事、壇尻ねりもの等賑々敷しとかや云々・・・と記録があります。

神社の記録では「文政六年(一八二七)六月十四日日本社御発輦 氏子各地町巡幸 夜御旅所御駐泊 翌十五日正午還御 各町奉仕地車六台供奉」が最古のものです。

江戸時代は六月の十四・十五日で斎行しておりましたが、明治になり四月十四・十五日に変更いたしました。大東亜戦争前後の中断をはさみ昭和二十八年に復活の際には五月十五日の一日での斎行となりました。その後も何度かの中断や、日程の変更があり平成七年の阪神淡路大震災でまたしても中断を余儀なくされました。氏子・青年会協議の末、平成八年より「地車祭」は五月三・四日、平成十二年より「神幸祭」は三年毎の十月十五日もしくはその前の日曜日に斎行する事を決定し現在に至っております。昨年が「神幸祭」の年でしたが、新型コロナ感染拡大の為、今年に延期をいたしました。感染の状況にもよりますが、規模を縮小してもなんとか、今秋に斎行をしたいと考えております。

<p>御影一筋 お好み焼き いくら</p> <p>御影本町4丁目5-10 078-821-5992</p>	<p>米工房 WONBESAKE 高田屋</p> <p>0120-05-5138 灘の地酒・ワイン 六甲ビール・こだわり焼酎 (山手幹線沿い山側)</p>	<p>MAISON DECOR MAISON DECOR MAISON DECOR 東灘区御影郡家1丁目25-12 PHONE 078-854-5810 FAX 078-854-5786 営業時間 AM10:30-PM6:30 水曜定休 美しい布のある暮らしを提案します</p>	<p>MIKAGE CLASSE</p>	
<p>御影市場(旨水館) (阪神電車 御影駅高架下) 神戸市東灘区御影本町4-11-10 TEL(078)841-2954 http://www.mikage-ichiba.com</p>	<p>おまかせください! のぼり 幕 法被 たすき 提灯 太鼓 その他祭礼用品</p> <p>株式会社 谷尾 神戸営業所 神戸市兵庫区水木通6-3-4 TEL 078-575-7721 FAX 078-575-7621</p>	<p>BarBer MORIOKA 床屋の技をご堪能ください。</p> <p>御影で創業100年。昔ながらの町の床屋です。祖父の代から受け継いだ丁寧な施術でお客様に満足して頂きます。</p> <p>〒658-0045 神戸市東灘区御影本町4-7-11 TEL.078-854-0498</p> <p>●営業時間(土・日・祝 ご予約優先制) 平日 9:00~19:30 土日祝 8:30~19:00 ●定休日:毎週月曜日 第2・3火曜日 ●最寄駅:阪神御影駅南側 徒歩1分</p>	<p>創業元元 御菓子司 虎屋吉末</p> <p>東灘区御影本町四丁目一 電話〇七八(八五二)二四四四</p>	
<p>YAKINIKU RESTAURANT 高麗飯店</p> <p>東灘区御影郡家1丁目21-15 TEL(078)842-3319 FAX(078)842-3398</p>	<p>池尻 池尻石材工業</p> <p>一神戸支店一 神戸市東灘区御影本町4-12-28 御影旨水館内 電話 078-851-3400 http://butsuji-ikejiri.com/</p>	<p>カラオケ・スナック Live</p> <p>神戸市東灘区御影本町4丁目12-7 電話(078)854-0499</p>	<p>現吉 阪神御影 御影中町1丁目4-15 TEL 851-2695</p>	
<p>SANYO AIR SERVICE CO.,LTD 地球規模の感動を届けたい</p> <p>神戸No.1の店舗ネットワーク SAS 三洋航空サービス</p> <p>http://www.travelsas.co.jp</p>	<p>御菓子司 常盤堂</p> <p>神戸市東灘区御影中町4丁目 電話 078(851)4677番代</p>	<p>総合レンタル衣裳 専門店</p> <p>ご婚礼・七五三・宮参り 成人式・卒業式・十三参り 弓弦羽神社指定店</p> <p>(株)スエヒロ衣裳 0798-33-1814 http://www.rental-suehiro.com/</p>		
<p>清酒 白鶴</p> <p>時をこえ 親しみの心をおくる</p>				<p>辛口ひとすじ 菊正宗</p> <p>神戸・灘 菊正宗酒造株式会社 菊正宗ホームページ http://www.kikumamune.co.jp</p>

続 後醍醐天皇とその周辺

全国教育関係神職協議会顧問
全国熊野会鳥取県支部長
勅願葦原神社 宮司
船上 神社 宮司

河合 鎮徳



令和二年が『日本書紀』編纂千三百年という記念の年でありましたので前号では『日本書紀』関連の内容をお届けしました。その前(令和元年下半年号と二年上半期号)には「後醍醐天皇とその周辺」というテーマでお話させていただきました。「全国熊野会」の事務局を務めた東輝明氏が、後醍醐天皇をお祀りする奈良の吉野神宮宮司に就任されたことと、隠岐から脱出されて伯耆の国(鳥取県西部)の名和長年と船上山にこもり逆賊を退けられた際八十日ほど留まられた行宮の船上神社の宮司を拜命したこともあり、後醍醐天皇に関する文献や史資料に目を通すと実に面白いことがわかってきました。そんなわけでさわりの部分をお届けしようと考えました。

シナの国から悪しき疫病が舞い込んで二年。収束の気配がみられなまま行動を制約される日々が続きます。この時期に収束後の旅行や、探訪をイメージしながら計画を練るのは楽しいことでもあります。その一助になればと思います、お話をさせていただきます。

隠岐脱出と伯耆の国のこと

後醍醐天皇が隠岐に流されたのが元弘二年(一一三二)三月。翌元弘三年二月に伯耆の国に脱出されました。では、なぜ伯耆の国に脱出されたのでしょうか、まず伯耆の国の海岸が一番近いことがあげられます。対馬海流が時速一ノット(一・八五二キ)で流れており、舟は東に流されながら進むことになる。一日も早く京の都に帰りたい天皇なれば、側近を固めなければなりません。強いガードが必要です。脱出した船でそのまま京を目指すのは多くの問題点がありました。漁船は小さく、水夫も複数載せられないこと。水や食べ物も抑えなければならぬこと。追っ手が近づいているのでいち早く上陸したいことなどがあげられましょう。近い伯耆の国と言っても約六十キロの距離。その当時隠岐と伯耆の連絡方法はどうかだったのでしようか。晴れた日には島前・島後(どうぜん・どうご)も識別できるほどはつきり隠岐が見えます。伯耆の国には秀峰大山が聳え、中腹には大神山神社・大山寺があります。大山の裾野から狼煙を上げてお互いに連絡を取っていたようです。その大山寺が大きなポイントになると考えられます。大山寺は天台宗であり、比叡山に次ぐ第二の霊場とも言われ、多くの僧兵がいたことはよく知られています。海岸沿いの名和庄の豪族名和氏に早くから天皇方は目をつけていたようです。名和氏は比叡山延暦寺の僧がルートであり、当然大山寺とも関係を持っていました。名和長年の弟信濃坊源盛(しなのほうげんせい)は大山寺の僧兵でもあります。僧兵たちを味方につけることが重要でありました。追っ手が迫りくる中で名和氏が家族会議ならぬ一族会議を開き、天皇方に味方しようと決議する場面は物語としては面白いのですがおそろく事前に綿密な計画が練られていたと思われるます。

船上山への移動 名和長年のこと

名和の庄の豪族名和氏を『蔗軒日録』(しよけんにちろく・長年没後百五十年後禅僧によって書かれた)と言う書物には「鯛売り」と蔑んで記述しています。しかし本来は、漁業にも運送業にも通じ、商人的要素を持ちながら関西にも連絡網を持つスーパースターでも有ったようです。

伯耆の国に住んで土地を治めると年貢米が蓄えられます。当然大きな米蔵があったことでしょう。名和氏の功績を称える住民たちによって屋敷内に氏殿権現(うじどのごんげん)をお祀りし、崇敬していたところ明治政府はこの氏殿権現を別格官幣社にします。しかし神社の規模も小さく官幣社としての威厳を持たせるために名和氏の米蔵であった場所に新たな社殿を建立します。明治一六年四月十日に竣工成ったこの社殿が現在の名和神社であります。後醍醐天皇を奉じて名和

氏一族郎党は船上山を目指します。兵糧米を担ぎ出した残りの米を敵方に渡さない為に焼いて処分しました。この「焼き米」が近年まで名和神社境内から出土していたと聞きます。私も幾度か冬の時期に訪れ発掘を試みましたが「焼き米」を手にすることは出来ませんでした。

船上山のこと

船上山は海拔六一六mの低い山ですが地形的に急峻で、絶壁屏風磐(ぜっぺきびょうぶいわ)が垂直にそびえ、大変要害な地であります。古くは修験道の聖地として開かれ、そのち僧坊が幾棟も立ち並んでいたようです。天皇の行在所を決定するに当たり、まさに、このあたりを熟知しているのが名和氏や僧兵たちだったのです。又、六〇〇m当たりの参道(山道)のそばに豊富な湧水所があります。奥には雄滝・雌滝があり水が不足することはありません。絶好の要塞です。この要塞に、後醍醐天皇の皇子大塔宮が隠密で訪れ画策をしたのではないかと考えられるのは当然のことでありましょう。

大塔宮は、護良(もりよし・もりなが)親王とも呼ばれ、倒幕をはかり、還俗して奈良・吉野・高野山などに潜行し、諸国に令旨を發して、父である後醍醐天皇を助ける大きな力となりました。その功績から征夷大將軍を任ぜられたのですが足利尊氏の讒言によって父後醍醐は謀反の疑いを持ち幽閉してしまいます。後に殺され無念の最後を遂げます。

その護良親王が隠密で船上山にかけつけ事前に綿密な謀をしたと思われると郷土史家は書いています。僧籍にあった大塔宮が僧をやめ俗人に戻り神出鬼没な行動をとり、諸国に「いざー立ち上がれー」と皇太子として命令を出すあたりすごいエネルギーを感じます。それゆえに足利としては排除したい存在だったのでしょうか。

この護良親王は、鎌倉の鶴岡八幡宮の近くの(旧官幣中社)鎌倉宮にお祀りされています。

名和氏と蒙古襲来絵詞のこと

中学・高校の歴史教科書で「蒙古襲来の図」をおぼえていらつしゃる方もあると思います。蒙古軍が火薬を使用し炸裂させるその近く

で、鎧を着た武将が弓を持って応戦しようとしています。馬の腹部からは血が噴出しています。この絵は正しくは『蒙古襲来絵詞』(もうこしゅうらいえことば)で、宮内庁三の丸尚蔵館に収められている絵巻です。この絵巻を明治天皇は特に好まれたようでありました。しかしこの絵巻が辿った道は実に不思議なものでした。

もとは九州の武士である竹崎五郎季長(たけざきごろうすえなが)が蒙古軍の襲来した文永十一年の役(一二七四)と弘安四年の役(一二八二)の両戦いに奮戦した自身自身の功績を記録するために画工土佐長隆・長章父子に永仁元年頃(一二九三)描かせたと伝えられています。これを幕府に見せて恩賞に預かるうとしたのです。見事思惑通りに進んだのでこの絵巻を竹崎季長は神社に奉納します。

奉納された神社は宇佐八幡宮といわれていたようです。ところが歴史学者で古文書学や印章学に詳しい荻野三七彦博士が正しくは「宇佐」ではなく「甲佐」であり、文書は虫が食ったために「宇」と「甲」を読み違えたのだと指摘したようです。

因みに甲佐八幡は阿蘇神社の末社で、その神庫にこの絵巻は収めてあったようです。しかし、どんないきさつかはわかりませんが、建武中興後に、九州八代に下った名和氏の手中に入り、名和氏の娘が天草の大名である大矢野家に嫁ぐとき、蒙古襲来に関係深かった大矢野家のために「引き出物」として持たせたようであり、この絵巻がその後どのようにして御物となったのか追跡してみたいと思います。

さて、今回は後醍醐天皇・名和長年・足利尊氏などの人物像と三木一草・悪党などについてお話を進めていきたいと思います。



蒙古軍へ斬り込んでいく竹崎季長(蒙古襲来絵詞)

七五三のご案内

御祈禱 御初穂料

お一人 ¥8,000 御兄弟 お二人 ¥12,000

御守・千歳飴・漫画古事記・

お土産 (お菓子・お面・風船) 付

(付添の御兄弟にもお土産を差し上げます)

御祈禱は、9月中旬以降12月中旬まで毎日受付しております。

予約は不要ですが、土日祝日は神社行事・結婚式等で受付できない時間もございます。

又、新型コロナウイルス感染の状況によりましては完全予約制になる事もございます。

詳細は弊社HPか☎にてお問合せください。



写真の衣裳はご祈禱を受けるお子様に
下記の間、無料でお貸ししています。
9月18日(土)~12月12日(日)

**衣裳
無料**

但し、ご予約が必要です。

- 9・10月にお借りになりたい方は
9月1日(水)より
- 11・12月にお借りになりたい方は
10月1日(金)より

午前9時~午後5時の間
電話 又は 社務所にて受付をいたします。

社務所にて写真屋さんの出張写真室

10月30日(土)・31日(日)、11月3日(水・祝)・6日(土)・7日(日)・13日(土)・14日(日)

予約は不要、当日午前9時半~午後3時の間の受付です。

1ポーズ¥11,000(税込、6切 19×24cm 1枚、台紙付) 焼増し¥5,500(税込)

出張写真室のお問合せは 宮前写真場 ☎078-643-2228迄

上記日程にて753記念パック

(神社社務所で着替) ¥28,900~(税込)もご用意できます。

(パック内容 御祈禱:衣裳レンタル・着付・ヘアアレンジ)

衣裳の展示は9月5日(日)・12日(日)・19日(日)・20日(月・祝)・26日(日)

午前11時~午後5時 神社境内 郡家会館1階です。

スエヒロ衣裳の
サンプル



記念パックのお問合せは スエヒロ衣裳 ☎0798-33-1814迄

令和三年 下半期行事予定

七月 一日 月次祭

「七夕飾」願い短冊受付一日~二十日

十八日 夏祭・崇敬会大祭



昨年の『七夕飾・願い短冊』の写真です。
短冊は社務所でお渡ししております。

八月 一日 月次祭
九月 一日 月次祭
十月 一日 月次祭

十日 例祭・神幸祭

十一日 兼務社 西平野殿島神社例祭

十一月 一日 月次祭

十二月 中 七五三御祈禱受付

十二月 一日 月次祭

三十日 年越「大祓」除夜祭

※新型コロナウイルスの感染拡大の場合は、右記行事の中止・延期もございます。



平成23年神幸祭



神社責任役員・総代委嘱

任期満了により令和三年四月一日付にて
左記の方々が就任されました。
任期は令和六年三月三十一日迄です

- | | | | |
|--------|---------|--------|--------|
| ◎ 森本建美 | ◎ 西島 徹 | ◎ 北田建樹 | ◎ 田中健彦 |
| 【西御影】 | 【中御影】 | 【平野】 | 【郡家】 |
| 山形敬直 | 赤松 徹 | 植田成久 | 田中健彦 |
| 平野裕之 | 中野 瀧 | 下林 猛 | 乾 三彌 |
| 平井清美 | 赤松 徹 | 高田佳男 | 大西勇夫 |
| 福本登貴雄 | 坂本義人 | 福永和男 | 高橋義一 |
| 坂本義人 | 鍵田武志 | 和田利重 | 福田雅弘 |
| 矢野勇治 | 【西之町】 | 杉本憲一 | 山下久史 |
| 谷田雅夫 | 【総代会参与】 | 岡本卓三 | 濱田智博 |
| 坪田三郎 | 谷田雅夫 | 【中之町】 | 西村和也 |
| 藤原 久 | 谷田雅夫 | 千足耕一郎 | 杉下育弘 |
| 谷口治男 | 谷田雅夫 | 三島秀文 | 西村和也 |
| 森下貴浩 | 谷田雅夫 | 【東之町】 | 濱田智博 |
| | | 坂本 隆 | 西村忠博 |
| | | 石田博司 | 【弓場】 |
| | | 大城代幸子 | 戴野幸子 |
| | | 河田 實 | |

◎印は責任役員を兼ねる